

研究課題名	結節性痒疹におけるネモリズムマブ使用時の副反応の疫学調査
研究期間	実施許可日 ～2027 年 3 月 31 日
研究の対象	広島大学病院および共同研究機関（山口大学を除く）で結節性痒疹に対し、2024 年 6 月 11 日から 2025 年 12 月 31 日の間にネモリズムマブを投与された患者さん（13 歳以上）。
研究の目的・方法	目的：ネモリズムマブ使用者の一部で、皮疹が生じることを臨床上経験することが多いです。 この皮疹出現の頻度や機序は未だわかっていません。 皮疹が出現しやすい患者背景などを研究することにより、今後のネモリズムマブ使用時の副反応出現の予測や予防、治療に役立てることを目的とします。 方法：カルテ情報より、情報を抽出し収集後、解析します。
研究に用いる試料・情報の種類	カルテ情報より、下記を抽出し収集します。 ・年齢 ・性別 ・結節性痒疹の重症度 ・皮疹の出現部位、数、大きさ ・血液検査（TARC、IgE、LD、好酸球） ・既往歴 ・治療歴 ・かゆみ Numerical Rating Scale（NRS） ・副反応の詳細（期間、皮疹の性状、治療、経過）
外部への試料・情報の提供	情報は個人が特定できる情報を削除し、誰のものか分からない状態で、Google フォームを用いて広島大学に提供されます。 広島大学で情報を集約して、Excel データにまとめたものを山口大学に送付し、共同で解析します。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2026 年 1 月 6 日）
個人情報の保護	各機関において収集した情報から、氏名、生年月日、住所等の個人を識別可能な情報を削除し新しく研究用の番号を付け、誰のものか分からないよう加工します。個人識別情報と付加番号の対応表は各機関の研究責任者が厳重に管理します。 データ解析の際には、個人情報を加工後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含まない。研究の成果を学会あるいは誌上に公表する際にも、個人を特定できる形では公表しない。
研究組織	本学・本院の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科皮膚科学 教授 田中暁生 研究機関の長

	広島大学理事 田中純子 研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科皮膚科学 教授 田中暁生 共同研究機関 (情報の提供) 横浜西口菅原皮膚科 院長 三上万理子 獨協医科大学皮膚科 教授 井川健 藤田医科大学皮膚科 教授 杉浦一充 筑波大学皮膚科 教授 乃村俊史 佐賀大学医学部皮膚科 教授 杉田和成 群馬大学皮膚科 教授 茂木精一郎 岩手医科大学皮膚科 助教 井上剛 愛知医科大学皮膚科 教授 渡辺大輔 ひふのクリニック人形町 院長 上出良一 東北大学皮膚科 講師 高橋隼也 大阪はびきの医療センター皮膚科 主任部長 片岡葉子 市立旭川病院皮膚科 堀 仁子 防衛医科大学校 皮膚科 教授 佐藤 貴浩 (解析) 山口大学 大学院 技術経営研究科 准教授 高橋雅和
その他	利益相反について： 代表機関である広島大学の研究者は、以下の企業より講演料・奨学寄附金の提供を受けています。 講演料：マルホ株式会社、サノフィ株式会社、鳥居薬品株式会社、日本イーライリリー株式会社、アッヴィ合同会社、大塚製薬株式会社、ファイザー株式会社 奨学寄付金： マルホ株式会社 アトピー性皮膚炎の治療薬であるネモリズマブの副反応について調査することで、ネモリズマブを販売するマルホ株式会社や他の競合する製薬会社の利益・不利益につながる可能性があります。しかし、記載の企業は本研究に直接携わる事が無いため、研究の実施や解析、結果の解釈等に影響を及ぼすことはありません。利益相反に関しては本学の臨床研究利益相反管理委員会で管理しています。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による

不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 皮膚科

担当者：渡邊 遥、佐々木 亘、齋藤 怜

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5238